

9 議題

資料 8_9 議題 (1) イ_追加資料2

(1) 文化財の指定・登録の推進について

指定・登録候補物件一覧

考古資料 指定・登録候補

No.	名称	時代	時代2	所蔵	内容・説明	備考
1-1	元割遺跡出土槍先形尖頭器及び関連石器群	旧石器	終末	県教委	第1文化層。旧石器時代終末期の本ノ木型尖頭器石器群の装備、狩場での製作状況を知ることのできる良好な資料。	当該期の石器装備が明らかで、石器製作の痕跡が認められる資料で重要
1-2	中山新田Ⅰ遺跡出土旧石器	旧石器		県教委	黒色帯下部の石器の全貌を知りうる随一の資料群。環状ブロック群発見当初は代表遺跡として著名。	先鞭の遺跡としては重要であるが、同様の遺跡が多く認められる昨今では指定は難しい
1-3	聖人塚遺跡出土旧石器	旧石器		県教委	ナイフ形石器等。ナイフ形石器文化の全階梯を網羅することが出来る資料で、大規模発掘期には千葉県北西部地区の旧石器を理解する指標となっていた。	中山新田同様の評価
1-4	大六天遺跡出土石槍	旧石器	終末	柏市	わずかに先端を欠損する長さ18.8cmの本ノ木型尖頭器。ほぼ完全な形状で残る優品で、着装の痕跡が確認される。	欠損品の多い新潟県津南町本ノ木遺跡には確認できない優品。元割とセットが望ましい
1-5	石揚遺跡出土旧石器	旧石器		県教委	第5文化層、Ⅶ層段階の高原山産黒曜石の剥片剥離の手法がわかる接合資料等は良好な資料。	本資料の重要性は変わらないがⅦ層段階の接合資料は、その後増加している。
2-1	石揚遺跡出土土偶	縄文	前期	県教委	前期初頭の土偶。当該期の土偶は県内でも希少な例。	
2-2	原遺跡SK75出土資料	縄文	前期	柏市	前期後葉。土坑から、市内では出土例の少ない諸磯a式土器の他、琥珀製品が4点出土している。	
2-3	大松遺跡、駒形遺跡出土資料	縄文	前・中期	県教振	北部東地区遺跡群に属する遺跡。大松遺跡は、前・中期の遺物が中心。前期は多くの黒浜式土器やヒスイ製大珠が出土。中期は他地域からの影響がみられる土器が出土している。駒形遺跡は、前期花積下層期礫斧が出土。	
2-4	出山遺跡出土遺物	縄文	中期	柏市	中期を中心とした大規模集落。ヒスイ製大珠や五領ヶ台式の深鉢等、希少な資料が出土している。	
2-5	大室小山台遺跡出土大珠	縄文	中期	県財団	中期を中心とする大規模集落。県内最多のヒスイ製大珠7点が出土している。	
2-6	大室小山台遺跡出土土器	縄文	中期	県財団	(23) SI001住居遺構一括または良好な資料	
2-7	笹原遺跡出土土偶	縄文	中期	柏市	中期中葉。阿玉台式期の大型板状土偶で、正面、側面、背面に文様が施され遺存状態が良好な資料。	
2-8	布瀬貝塚出土線刻礫・骨角製品	縄文	中期	早稲田大学	中期の貝塚から出土。線刻礫、鹿角製腕飾は類例のない良好な資料。	
2-9	林台遺跡出土土器	縄文	中期	柏市	中期後半。加曾利E式土器の豊富な一括資料が出土しており、大型の土器が多くみられる。	

No.	名称	時代	時代2	所蔵	内容・説明	備考
2-10	榊方遺跡出土 オオツタノハ形土製腕輪	縄文	後期	柏市	後期初頭。オオツタノハ製貝輪を模倣した土製品。完形品は希少で、南海産オオツタノハの特徴が表現される良好な資料。	
2-11	寺下前遺跡出土土偶	縄文	後晩期	柏市	柏市での晩期資料のまとまった出土は本遺跡で初。晩期包含層から出土した、晩期中葉頃の土偶、土版。	
2-12	大井（船戸）貝塚出土石冠形土製品	縄文	後晩期	個人蔵	後晩期。祭祀具と考えられる石冠形の土製品。市内では他に出土例がない。個人蔵で所在不明。	
3-1	伝高柳出土弥生土器	古墳	初頭	柏市	弥生終末～古墳初頭。茨城県北部の土器（十王台式土器）の特徴が認められ、活発な交流の一端を示す資料	
3-2	戸張一番割遺跡出土遺物	古墳	初頭～前期	柏市	手賀沼から注ぐ大津川の北岸に位置し、古墳出現期～古墳時代前期にかかる環濠を持つ拠点集落である。古墳時代出現期の集落の特徴である外来系土器群（畿内・北陸系）や金属製品（重圏文鏡、銅鏃、ヤリガンナ）が出土しており、柏の古墳時代出現期を語るうえで貴重な遺跡である。	
3-3	石揚遺跡出土遺物（ガラス玉他）	古墳	初頭～前期	柏市	土器、ガラス玉、鉄剣等が出土しており、手賀地域の弥生時代終末から古墳前期初頭における古墳出現期の墓域と集落の展開を考えるうえで重要。北ノ作古墳より古い。	
3-4	北ノ作1号墳・2号墳出土資料	古墳	前期	県教委	北ノ作1・2号墳は手賀沼の南岸に位置しており、遺構・出土遺物から1号墳は弥生時代終末から古墳時代出現期、2号墳は4世紀前半と推定される。1号墳では出現期の特徴である銅鏃やヤリガンナ、外来系土器が出土している。手賀沼地域の古墳時代出現期から4世紀代の様相を知る貴重な資料である。	
3-5	戸張城山2号方形周溝墓出土土器	古墳	前期	柏市	多様な装飾壺が出土。文様帯は東海西部ないし近畿地方に影響を受け成立した融合型式で構成。壺棺という葬送の採用も特筆される。	
3-6	呼塚遺跡1号溝出土土器	古墳	前期	柏市	呼塚遺跡は古墳時代前半から古墳時代中期後半の大規模集落であり、古墳時代前期前半は「環濠集落」としての性格を有していたことが分かっている。第15次調査の検出された1号溝からは、東海系や北陸系を含む土器群が検出されている。これらの土器群はその出土状況、遺物の状態からなんらかの儀礼等と考えられ一括資料である点も踏まえ、貴重な資料として挙げられる。	

No.	名称	時代	時代2	所蔵	内容・説明	備考
3-7	浅間山遺跡出土土器	古墳	前期	柏市	大津川右岸の舌状台地に立地して、同台地上の突端部には大井浅間古墳が立地する。前期前半～前期後半、中期に営まれた集落であり、前期後半～中期が集落の最盛期となる。出土遺物では東海系・畿内系・南武蔵系の外来系土器に加えて住居内から手焙形土器も出土しており、柏市内では呼塚遺跡の環濠内出土例を含めた2例のみであり、稀有な例となっている。	
3-8	幸田原遺跡出土鉄剣	古墳	前期	柏市	幸田原遺跡は弥生時代後期から古墳時代前半の集落であり、V字溝も確認されている。溝の外で検出された住居からは長茎短身鉄剣が出土しており全国で52遺跡66事例。関東では本遺跡を除いて5例。千古墳時代前期の稀有な様相を伝える好例。	
3-9	花野井大塚古墳出土遺物	古墳	中期	柏市	中期末葉。円筒埴輪と形象埴輪（家・鶏形）を備え、短甲・刀剣・鉄鏃に加え、希少な胡籬も出土している。	
3-10	原1号墳出土埴輪	古墳	後期	柏市	周溝内から円筒・朝顔形埴輪のほか形象埴輪（人・鳥・魚）がまとまって出土し、時期は下総型埴輪直前（6C中頃）。	
3-11	伝手賀村布瀬出土埴輪	古墳	後期	柏市	染谷大太郎により東京大学に寄贈された布瀬地区に所在した古墳から出土したと伝わる裸馬の埴輪。	
3-12	きつね山古墳出土鉄剣	古墳	後期	柏市	H28に新たに発見されたきつね山2号墳の石室から出土した直刀で、鍔の縁に銀象嵌が施される。6C末～7C初頭。	
3-13	船戸古墳群出土遺物（鉄剣他）	古墳	後期	柏市	37号墳（7世紀前半）の副葬品に鉄剣や馬具、耳環、飾り太刀の部材である捻り環が出土している。	
3-14	中馬場遺跡出土金属製品群	古墳-古代		柏市	中馬場遺跡は古墳から古代にかけ集落が継続されており、多種多様な金属製品が出土している。一般集落でみる刀子・鎌・鋤や官人が身に着ける丸柄、帯金具なども出土している。	
4-1	花前Ⅰ・Ⅱ遺跡出土資料	奈良・平安		県教委	8世紀～10世紀代の集落跡が検出されており、遺跡の特質として製鉄関連遺構が挙げられる。遺物では獣脚付容器の鋳型、二彩陶器、灰釉陶器、緑釉陶器、五芒星が墨書された土師器が出土している。製鉄遺構は当該地域の鉄生産の様相を示す好例である。	
4-2	大井東山遺跡出土資料	奈良・平安	平安	柏市	古墳時代～奈良・平安時代の集落の主体であり、住居跡に加え、内陣を持つ掘立柱建物も検出されている。遺物は三彩陶器、皇朝十二銭、「新生寺」の墨書土器も検出されており、三彩陶器、皇朝十二銭は官衙跡等で出土する例が多い資料である。	

No.	名称	時代	時代2	所蔵	内容・説明	備考
4-3	宿ノ後遺跡出土資料	奈良・平安		柏市	古墳時代前期及び奈良・平安時代の集落跡である。住居内からは三彩陶器が検出されており、柏市内では大井東遺跡・花前遺跡など出土例は少なく、貴重な出土例である、皇朝十二銭（和同開珎）も出土している。	
4-4	中馬場・花戸原遺跡出土 帯金具	奈良・平安		柏市	8世紀～9世紀頃。金銅製の丸柄、青銅製の巡方など、役人が着ける帯金具が複数出土している。	
4-5	六盆内遺跡出土 緑釉陶器	奈良・平安		柏市	奈良・平安時代が主体の集落跡であり、「コ」の字に配置された掘立柱建物が注目される。出土土器は8世紀～9世紀が主体だが、10世紀以降の緑釉陶器も検出されている。	
4-6	手賀廃寺出土瓦	奈良・平安		柏市	手賀廃寺は明治時代に坪井正五郎らの調査により古瓦が確認されていた。軒丸瓦が数点採取されており、素文縁の単弁八葉蓮華文及び単弁六葉蓮華などが挙げられる。採集資料なため具体的な年代は決められないが、手賀沼沿岸地域の寺院の存在を考える上で貴重な資料である。	
4-7	鴻ノ巣遺跡出土 土馬	奈良・平安		柏市	9Cの住居跡から出土	
4-8	豊四季遺跡出土 仏像土製垂飾	奈良・平安	か	柏市	7Cの住居跡から出土（意匠は新しいか）	
5-1	文永2年（1265）銘板碑	中世	鎌倉	大井の恩田家	阿弥陀一尊種子板碑。下総型。県内で3番目に古い。	
5-2	文永11年（1274）銘板碑	中世	鎌倉	地主神社	阿弥陀一尊種子板碑。下総型。	
5-3	箕輪城跡出土 宝篋印塔	中世		柏市	應永16年の紀年銘のある宝篋印塔の基礎。城郭以前、14世紀から15世紀初頭にかけて墓域が営まれたと考えられる。	
5-4	中馬場遺跡出土陶磁器群	中世		柏市	土器・陶磁器類は中世初期から近世まで継続し、千葉県下では類例が少ない。関東の陶磁器流通を把握する上で指標となりうる。	
6-1	染谷家所蔵資料	縄文・古墳	他	個人	染谷大太郎氏が収集した考古資料で、観古帖などで紹介されている。岩井貝塚土偶・貝輪、北ノ内古墳の円筒埴輪、手賀廃寺の瓦、風早大井の耳環など多彩な収集品が魅力である。	

史跡 指定・登録候補

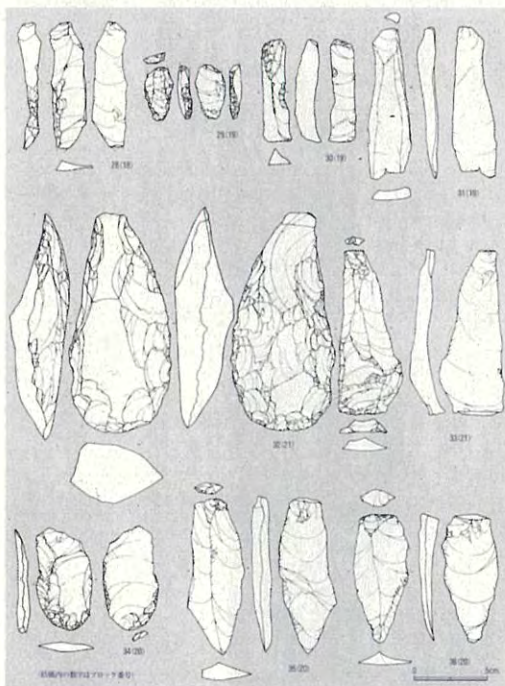
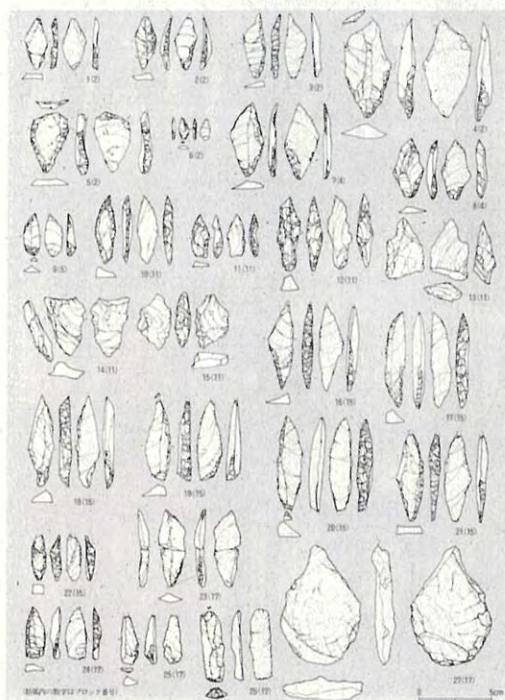
No.	名称	時代	時代2	所有	内容・説明	備考
7-1	明坊地貝塚	縄文	前期	個人	前期の貝塚。手賀沼南岸における黒浜式土器のまとまった資料が出土した学史的な遺跡。当該期の斜面貝塚として希少。	
7-2	布瀬貝塚	縄文	中期	個人	中期前葉の大規模な貝塚。当該期の貝塚は、周辺地域では他に類例がない。	

No.	名称	時代	時代2	所蔵	内容・説明	備考
7-3	岩井貝塚	縄文	後晩期	個人	明治期から学会に知られた貝塚。後期後半安行1式の型式設定の基準となる土器の他、採集資料として土偶も出土している。	
7-4	戸張城山遺跡	古墳	前期	個人	城山遺跡は戸張遺跡群に内包され、同じ舌状台地には同時期の山田台遺跡が立地する。本遺跡は環濠集落でありV字溝及び箱形溝への時期変遷が確認されている。また竪穴住居ほか環濠の内外で方形周溝墓5基が検出されており、出土遺物から弥生終末～古墳初頭と判明している。本遺跡は一番割遺跡と同じ性格を持つ遺跡であり、竪穴住居跡の復元、岩崎卓也らの調査など学史の上でも重要な遺跡と位置づけられる。	
7-5	一番割遺跡	古墳	前期		手賀沼から注ぐ大津川の北岸に位置し、古墳出現期～古墳時代前期にかかる環濠を持つ拠点集落である。古墳時代出現期の集落の特徴である外来系土器群（畿内・北陸系）や金属製品（重圈文鏡、銅鏃、ヤリガンナ）が出土している。また墓域で前方後方墳1基、方形周溝墓4基が検出されており、手賀沼沿岸地域の出現期古墳として重要で発見である。戸張遺跡群、手賀沼沿岸地域の古墳及び集落の展開を語るうえで貴重な遺跡である。	
7-6	大井浅間古墳	古墳		個人	大井浅間古墳は大津川南岸の舌状台地の突端部に位置し、同じ台地上に浅間山遺跡があり、対岸には一番割遺跡を代表とする戸張遺跡群が対峙する。墳形は前方後方墳であり、全長は約50mを計る。一番割遺跡、石揚遺跡、北ノ作古墳を含む手賀沼沿岸地域の古墳の変遷を考えるうえで貴重な古墳である。	
7-7	八幡山古墳	古墳	後期	個人	前方後円墳6C前半。東深井古墳群と対をなす。未調査で保存状態良好。	
7-8	箕輪古墳群	古墳	後期		手賀沼沿岸地域の分布する後期古墳群の1つで、東側には小支谷を挟み、船戸古墳群が対峙している。未調査の古墳を含め5基で構成され、東側の古墳の調査では帆立貝式前方後円墳であるST01は主体部は検出されなかったが円筒埴輪、人物埴輪、馬形埴輪、家形埴輪などが出土している。ST02では横穴式石室が検出されており、水晶とメノウの勾玉や須恵器長頸壺が出土している。墳丘測量が実施された西側に位置する箕輪1号墳は前方後円墳、箕輪2号墳も円墳であることが判明しており、古墳の状態も良好な状態である。	

No.	名称	時代	時代2	所蔵	内容・説明	備考
7-9	天神山古墳群	古墳	後期		手賀沼沿岸に分布する古墳群であり、円墳4基、前方後円墳2基が現存している。同台地状に天神山遺跡も所在しており、古墳時代前期から中期の集落であることが判明している。平成13年度の調査で古墳の周溝が確認されており、形状から横穴式石室が想定されており、後期古墳群であることがうかがえる。	
7-10	天神台古墳群	古墳	前期～後期		天神山古墳群は手賀沼最奥部の南岸位置し、隣接する古墳時代前期後半の上ノ台遺跡との関連が注意される。本古墳群からは円墳3基、方墳3基が検出されており、前期から後期まで墓域として継続していたことが伺える。後期である2号墳は円筒埴輪も検出しており、対岸の金塚古墳と構造も類似している点は興味深い。	
7-11	船戸古墳群	古墳	後期		手賀沼南岸の扇状に広がる台地に立地し、前方後円墳7基、円墳33基が分布する。A支群・B支群・C支群に分けられ、唯一の埴輪を持つ30号墳や多様な副葬品を持つ37号墳など6世紀後半の埴輪樹立、6世紀末～7世紀初頭の横穴式石室の採用の時期的な変遷が分かっている。またB支群は地権者と市民団体の協力により整備されており、静閑な古墳群の姿を今でも見ることができる。	
7-12	宮後原製鉄遺跡	奈良・平安			製錬炉。炉本体の解体が最小限であったため、製錬炉の構造が把握できる良好な事例。炉本体と送風施設が残る。	
7-13	増尾城跡	中世	戦国	柏市	16世紀に築かれた小金城関連の城と推測される。土塁・堀からなる塁壁が城域の大半を囲み、複数の横矢が設けられた城跡。現在公園として保存・活用。	
7-14	幸谷城館跡	中世	室町	柏市	15世紀後半頃築造。主郭を中心に周囲に附属防御施設を伴う複郭構成の城。現在公園として保存・活用。	
7-15	柳戸砦跡	中世			周辺には近世集落がほぼ当時の状態で残る。	
7-16	戸張城跡	中世			戸張城跡は大津川が形成した谷戸の半島状台地突端に位置している。当城後の特徴は土塁・堀の規模が非常に大きいことである。こうした合横矢状は両総の城跡の特徴として挙げられる。	



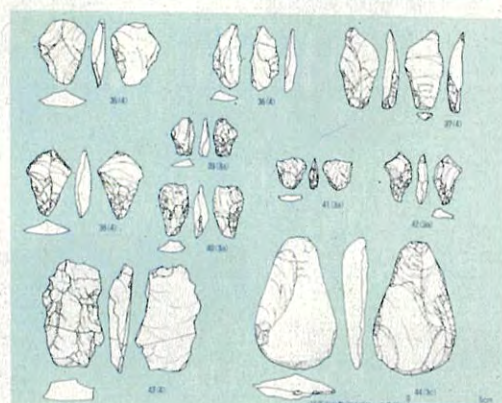
1-1 元割遺跡



1-3 聖人塚遺跡



1-4 大六天遺跡



1-2 中山新田遺跡



1-5 石揚遺跡



2-1 石揚遺跡



2-2 原遺跡



SK-096出土土器



SK-226出土土器



SI-013出土陶器大粒 (実大)



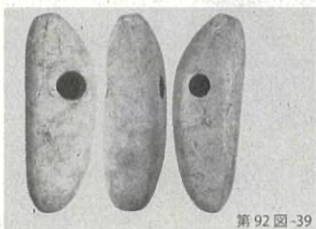
2-3 大松遺跡 駒形遺跡



第52図-17



第56図-2



第92図-39

2-4 出山遺跡



2-5 大室小山台遺跡



(23)S1001

4-68



(23)S1001

4-65



(23)S1001

4-47



(23)S1001

2-6 大室小山台遺跡



2-7 笹原遺跡



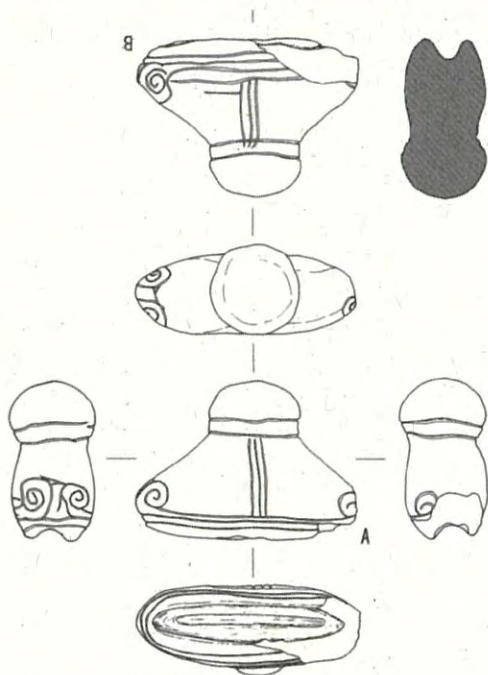
2-8 布瀬貝塚



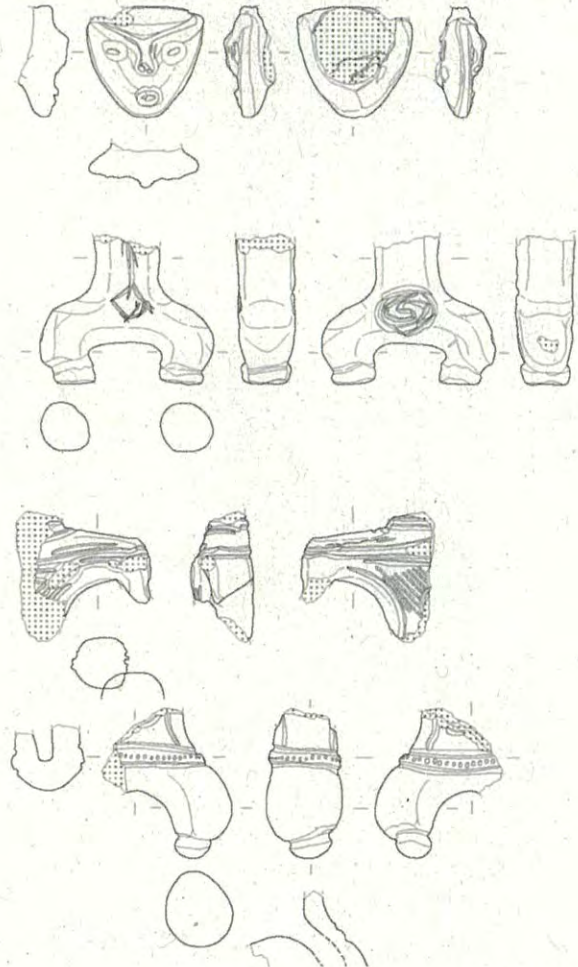
2-9 林台遺跡



2-10 枅方遺跡



2-12 大井貝塚



2-11 寺下前遺跡



3-1 伝高柳出土弥生土器

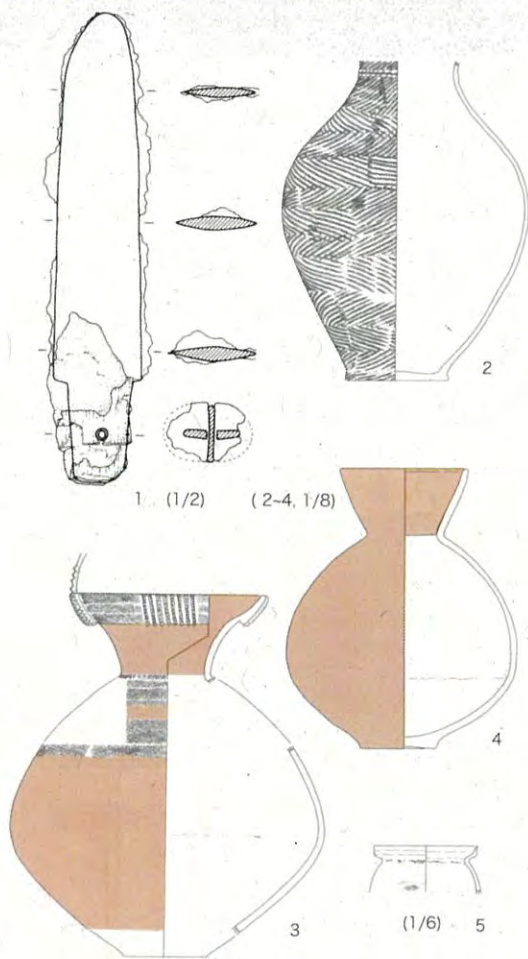
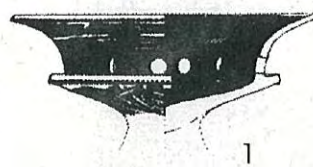
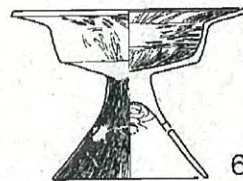


図5 2・4号出土遺物
(1~4は2号墳、5は4号墳)

3-3 石揚遺跡

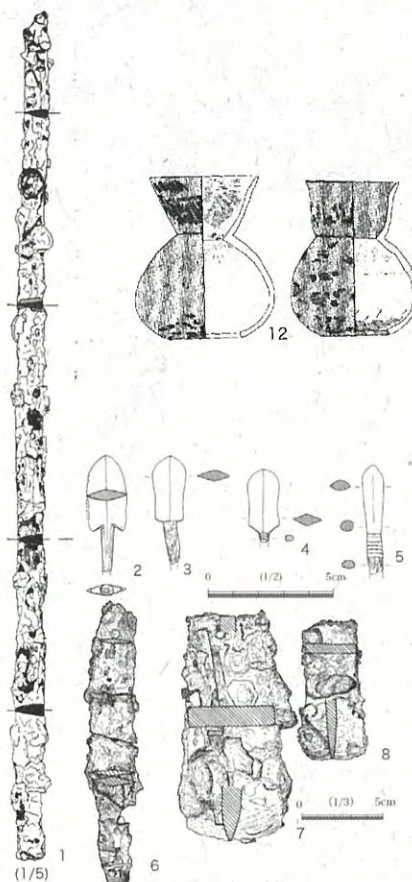


一番割遺跡11号住



一番割遺跡1号前方後方墳

3-2 戸張一番割遺跡



3-4 北ノ作1号墳・2号墳



戸張城山遺跡出土壺棺

3-5 戸張城山遺跡



3-6 呼塚遺跡



3-7 大井浅間古墳



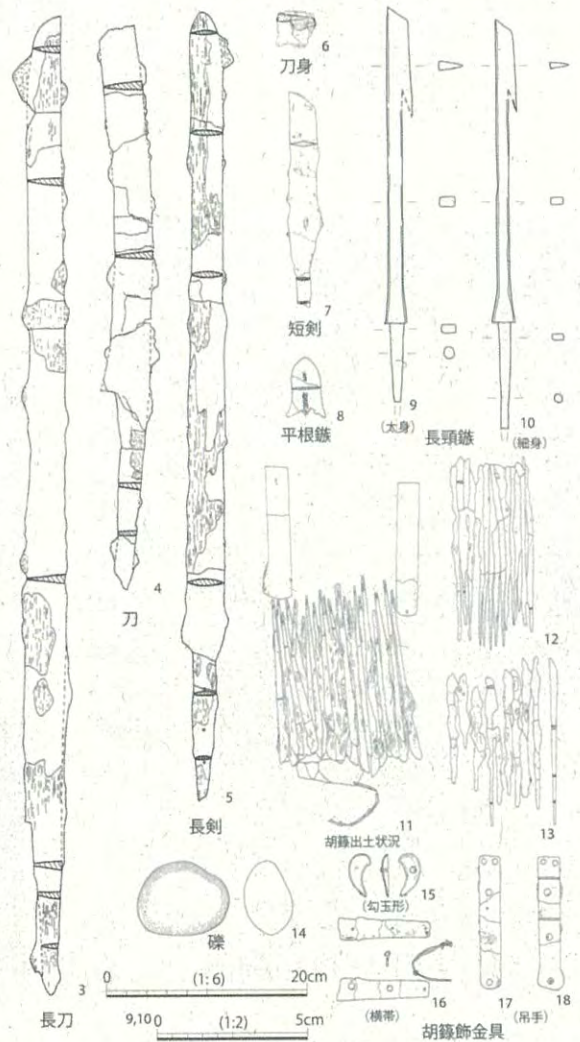
3-8 幸田原遺跡



鶏形埴輪 (A類)

形象埴輪台部 (A類)

3-9 花野井大塚古墳





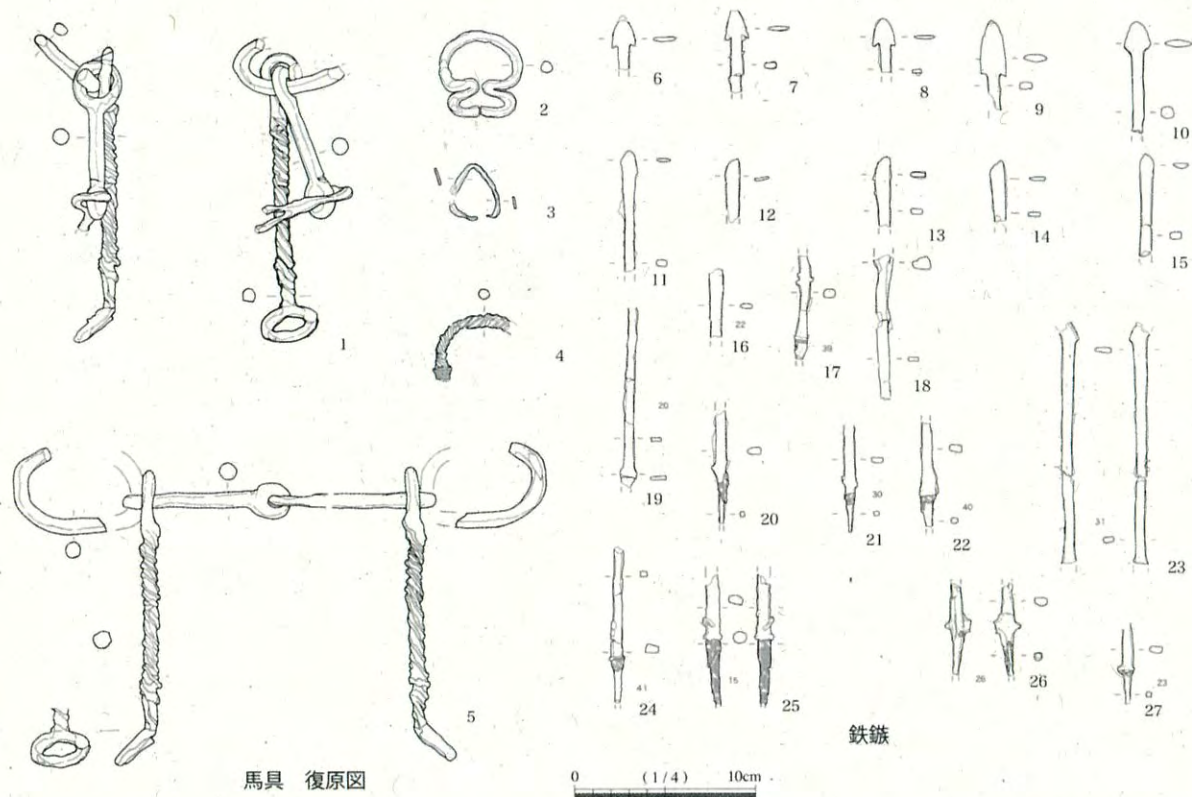
3-10 原1号墳



3-11 伝手賀村布瀬出土埴輪



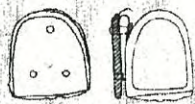
3-12 きつね山古墳



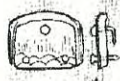
3-13 船戸古墳群



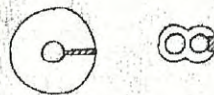
鉄製品 環



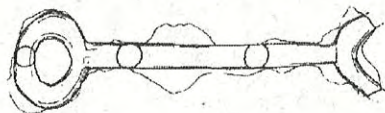
青銅製品 飾り金具 (7号)



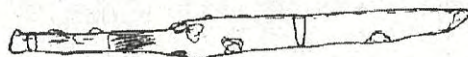
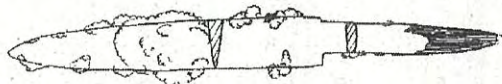
(青銅製品 帯金具 (14号)



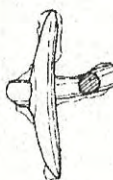
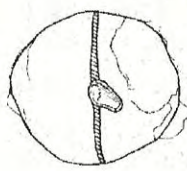
銅製品 用途不明



馬具



刀子



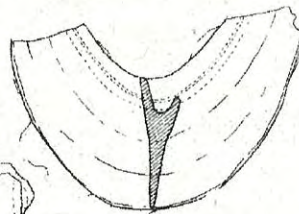
紡錘車



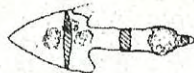
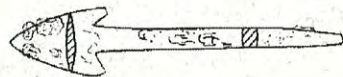
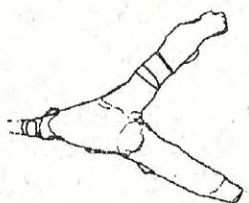
鉋



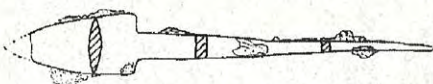
火切金



鉋



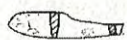
柳葉式有茎鏃



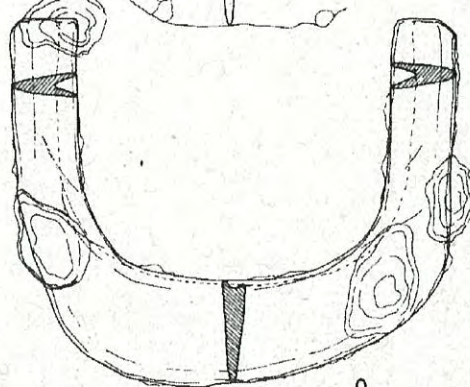
小型定角式有茎鏃



三角形有茎鏃



片刃矢式有茎鏃



鉋

0 5cm

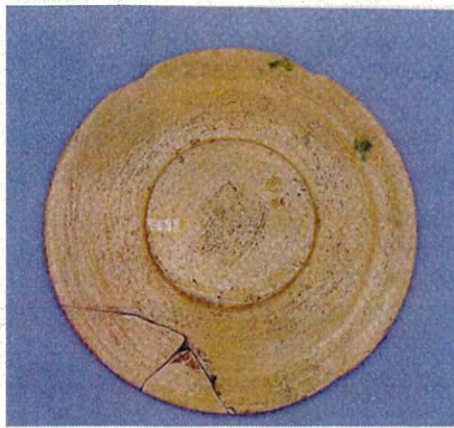


写真7 二彩陶器

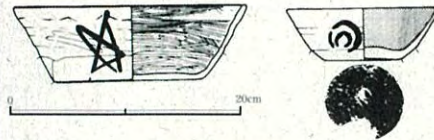


図4 墨書土器



写真8 銅製杓子

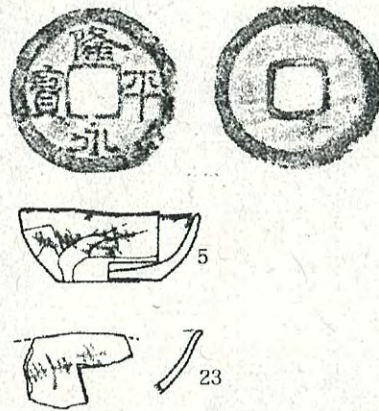


写真6 花前Ⅱ遺跡 鋳型

4-1 花前Ⅰ・Ⅱ遺跡



写真2 三彩陶器小壺



5(第1次)

23(第1次)

4-2 大井東山遺跡



写真3 三彩陶器小壺



4-3 宿ノ後遺跡

4-4 中馬場遺跡・花戸原遺跡



六盃内Ⅱ遺跡37号住居跡出土緑釉陶器

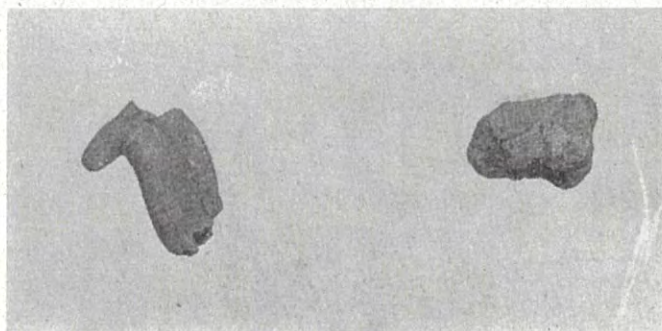


六盃内Ⅱ遺跡出土灰、緑釉陶器破片

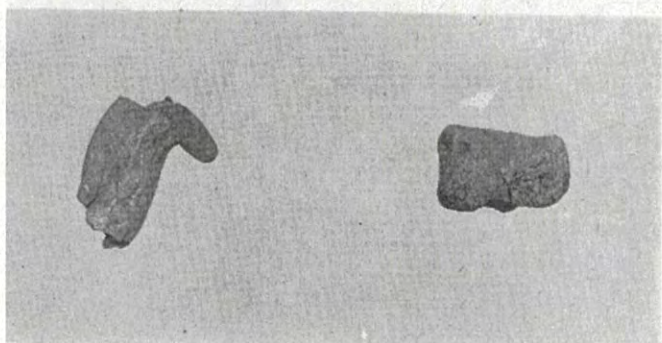
4-5 六盃内遺跡



4-6 手賀廃寺



4-8 豊四季遺跡



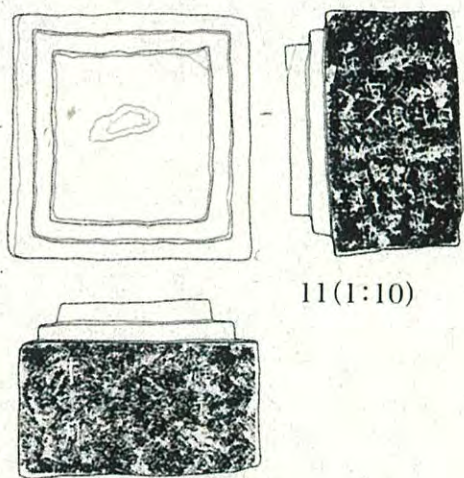
4-7 鴻ノ巣遺跡



5-1 文永2年(1265)銘板碑



5-2 文永11年(1274)銘板碑



11(1:10)

正面刻分
應永十六
年十月
四日
左側面刻文
每自作是念
以何今與生
得入無上道
束成就佛身
右者
性一此立屋
逆修奉也

5-3 箕輪城跡出土 宝篋印塔

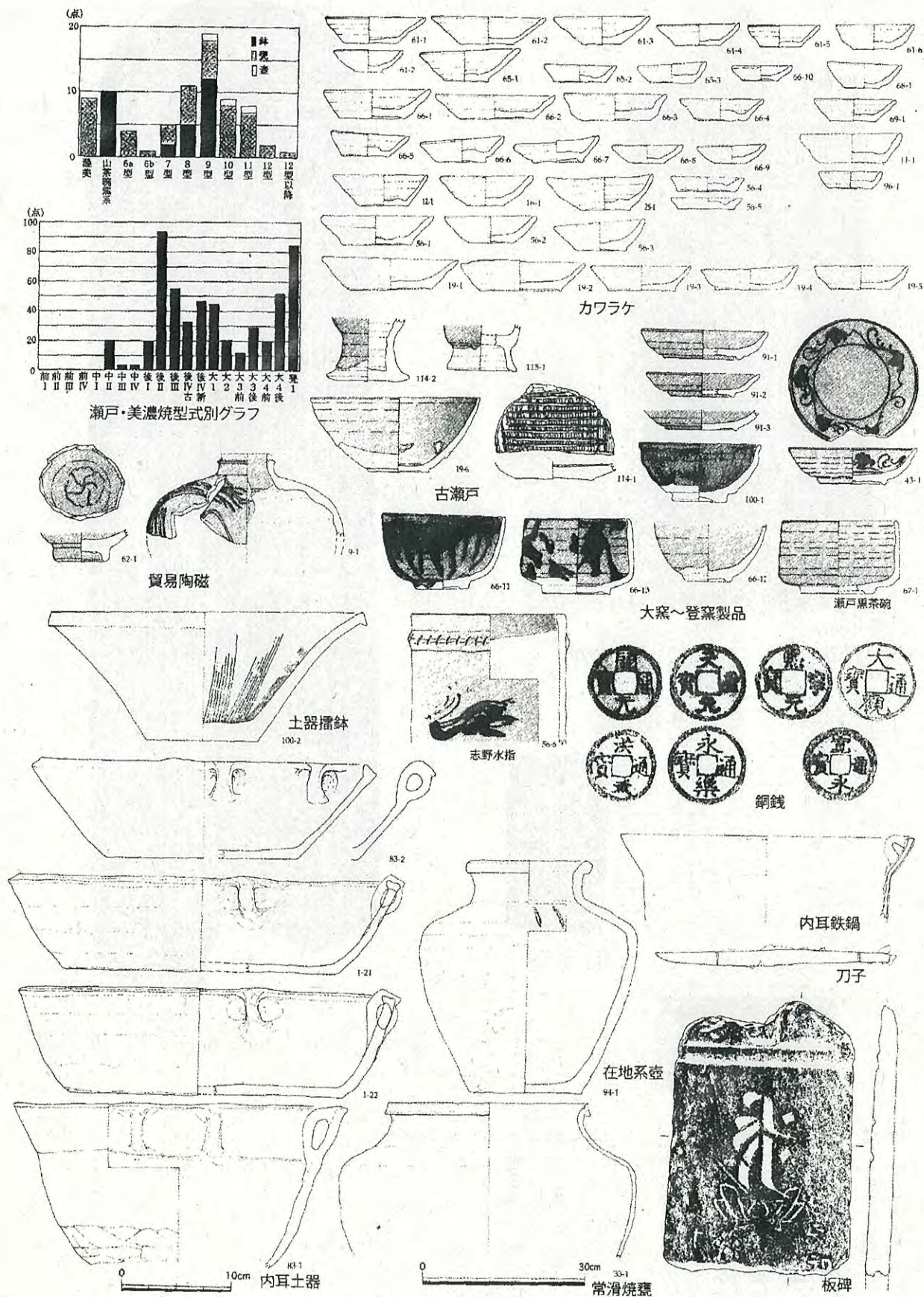


図5 検出された遺物

5-4 中馬場遺跡出土陶磁器群



柏市内出土 耳飾り



柏市内出土 土偶



岩井貝塚出土 貝輪



大井出土 耳環



北ノ内古墳出土 円筒埴輪



手賀廃寺 瓦



図1 遺跡位置図

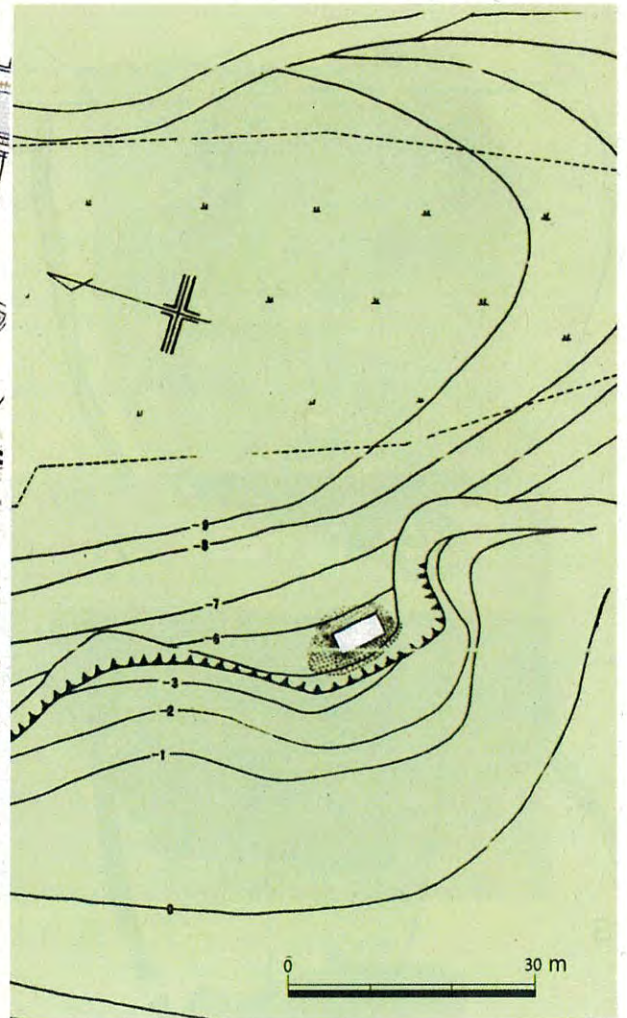


図2 調査区

7-1 明坊池貝塚



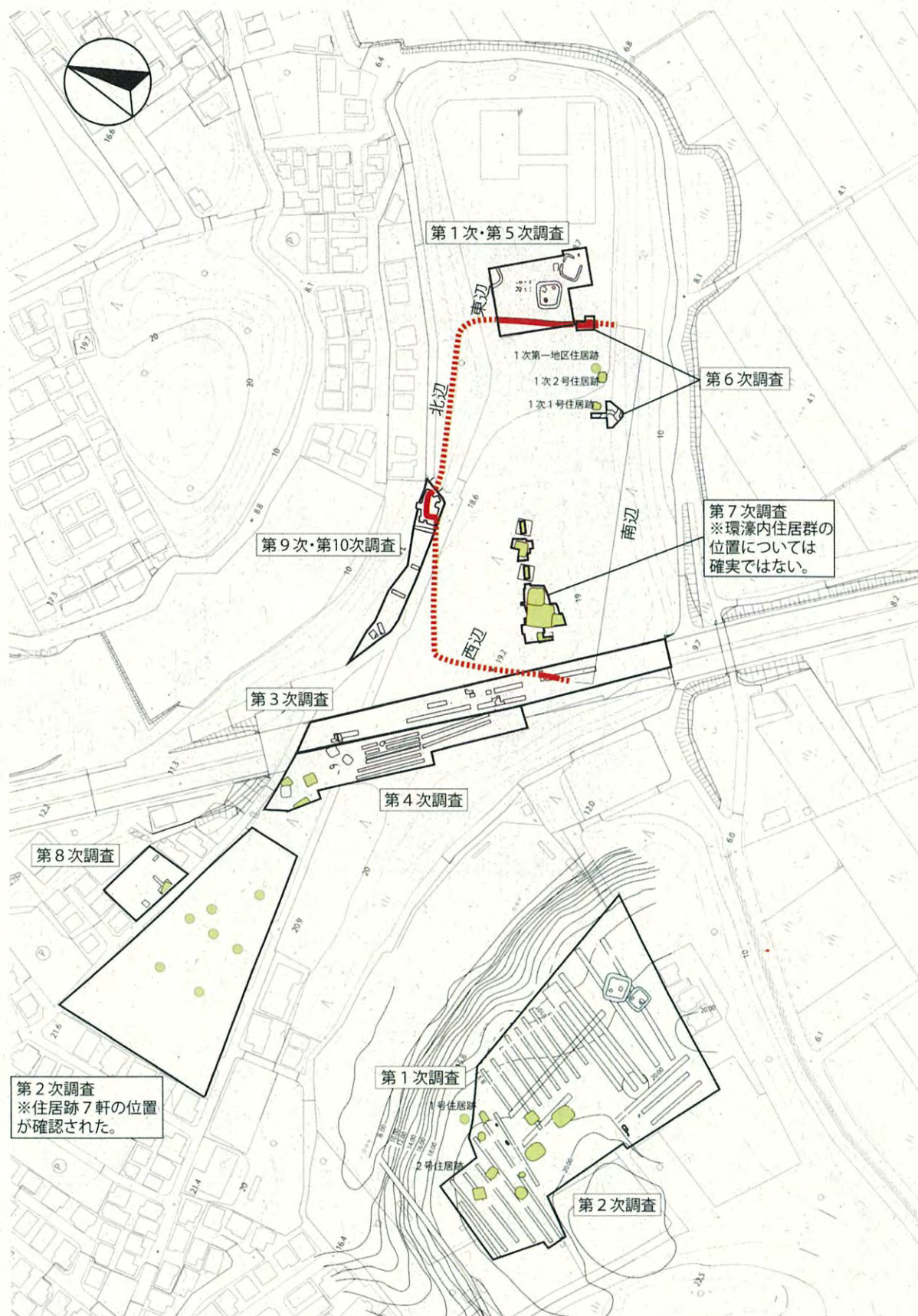
7-2 布瀬貝塚



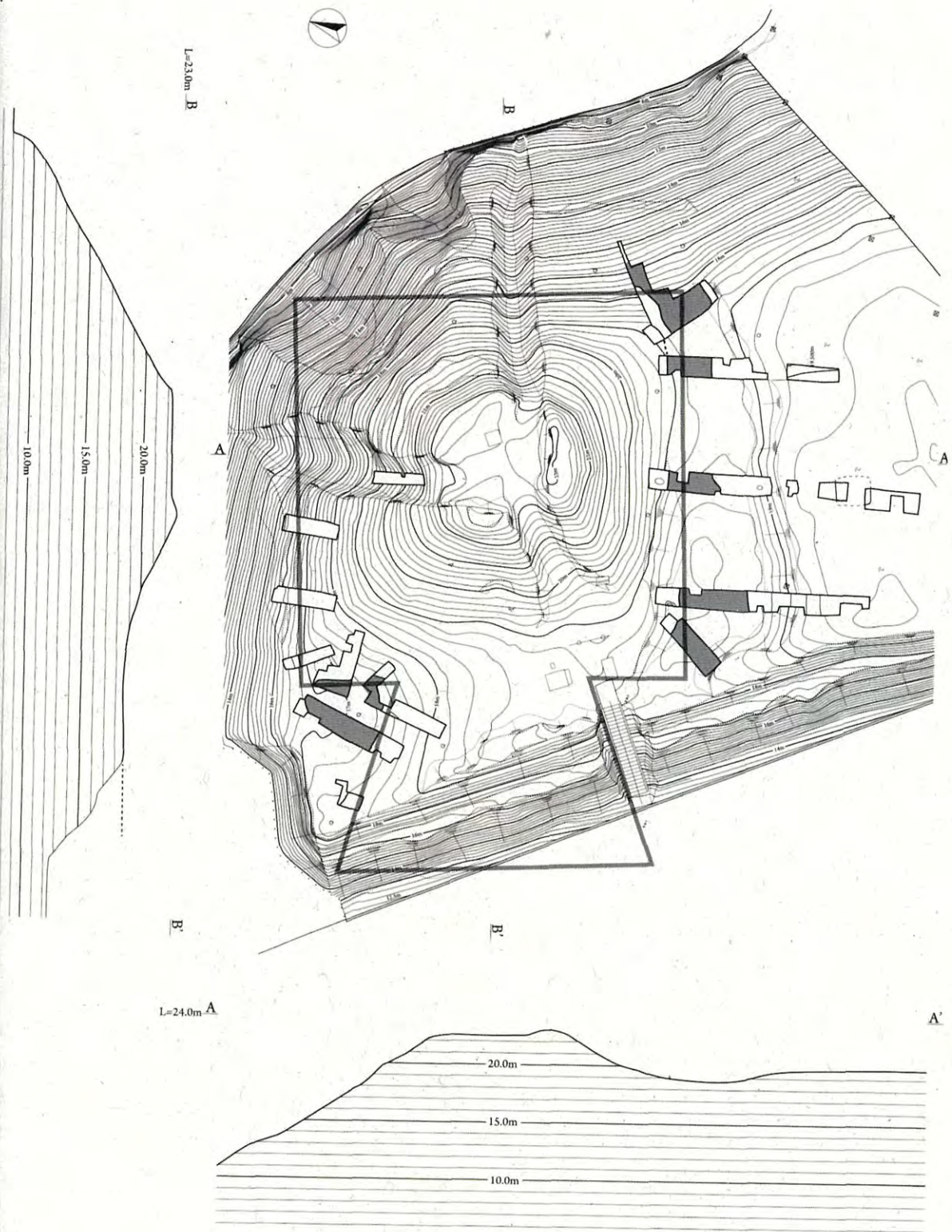
7-3 岩井貝塚



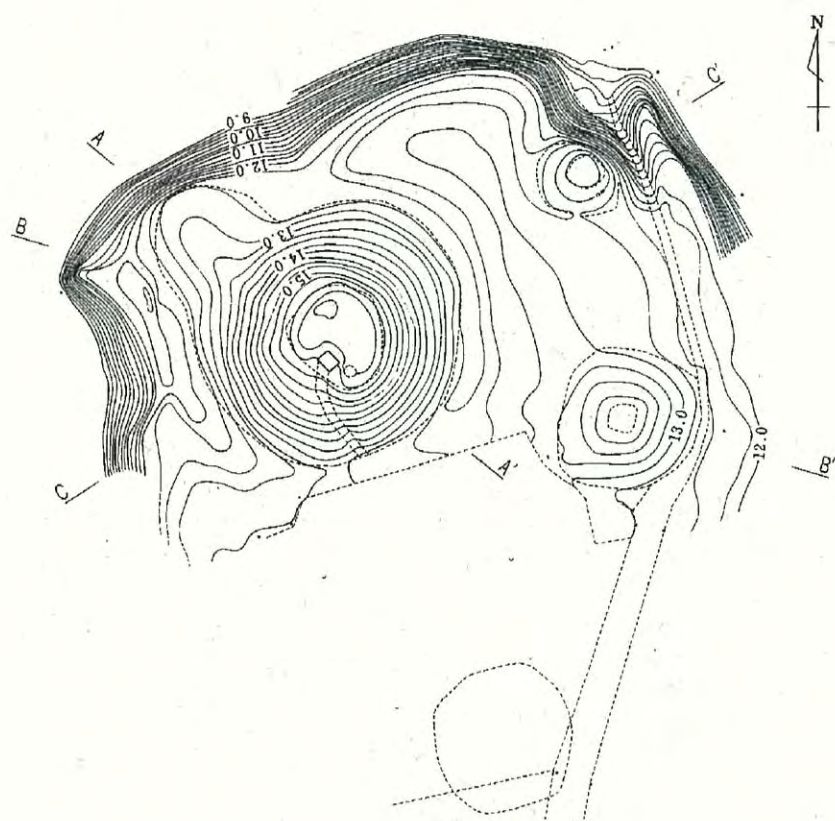
7-4 一番割遺跡



7-5 戸張城山遺跡



7-6 大井浅間古墳



A-A'断面



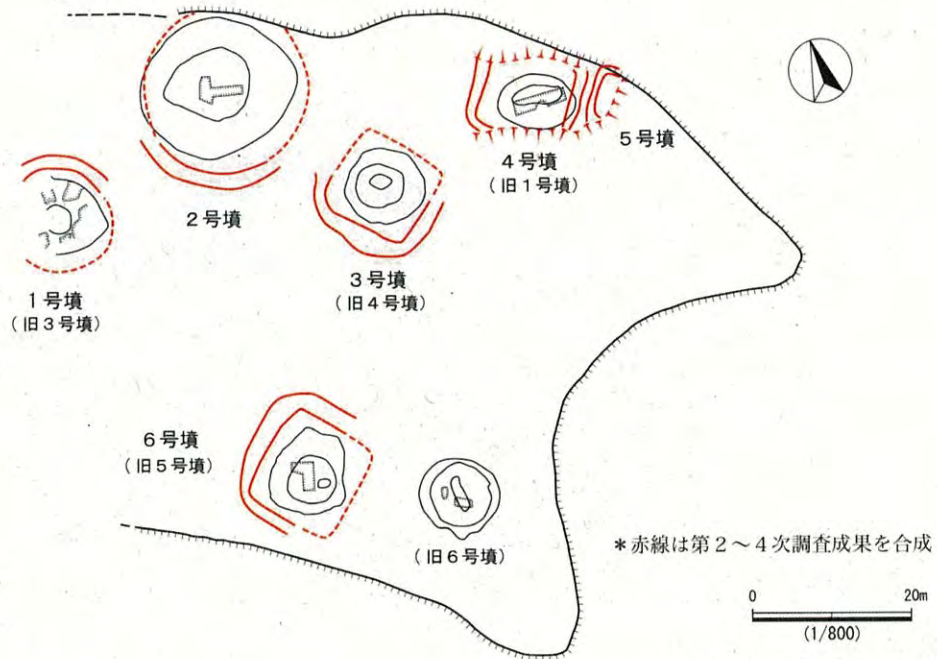
B-B'断面



C-C'断面



7-7 八幡山古墳



7-8 天神台古墳群

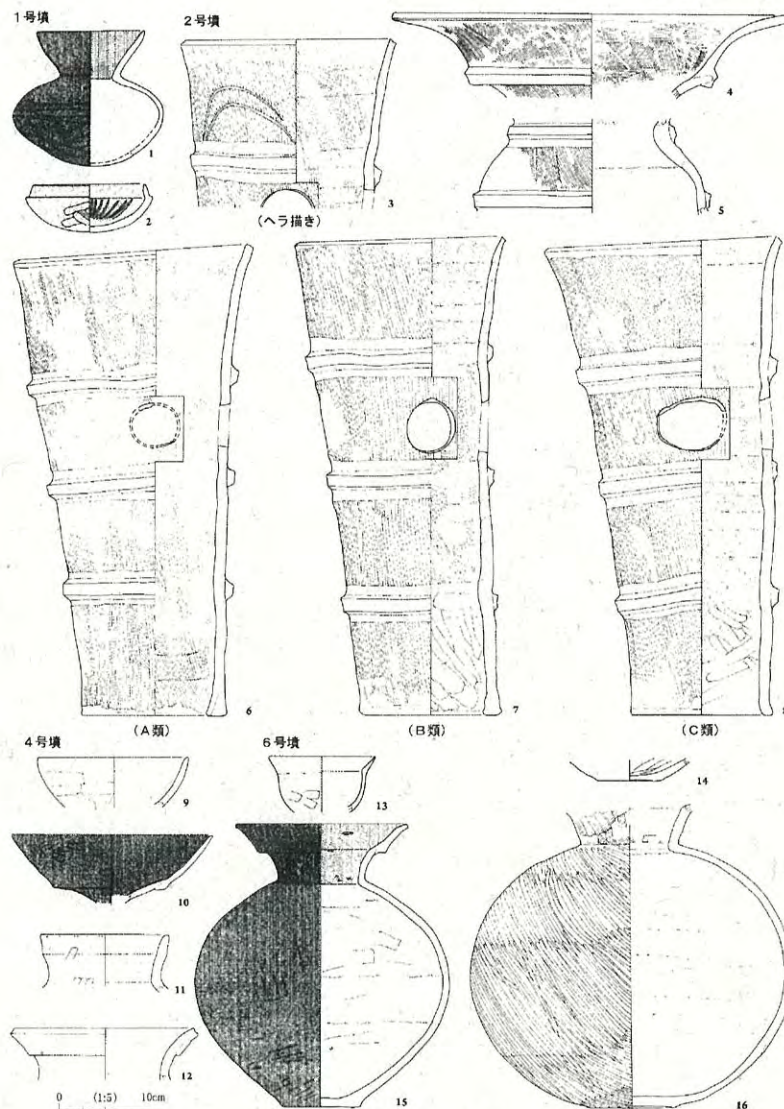
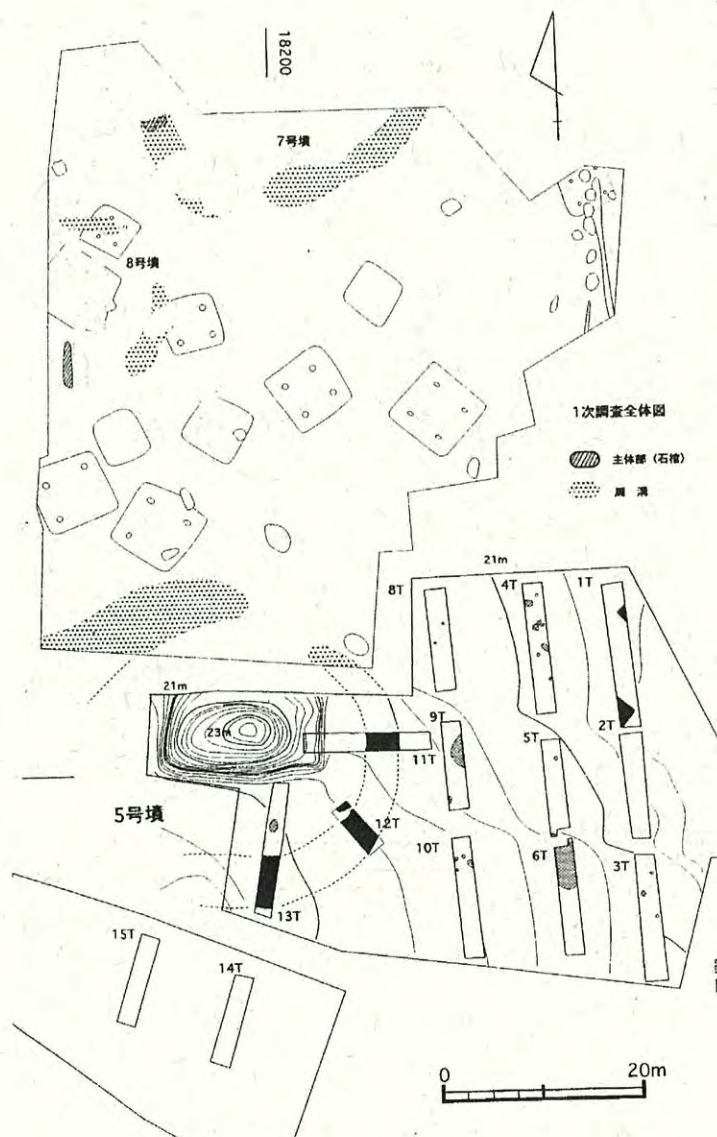


図3 天神台古墳群の土器と埴輪



7-9 天神山古墳群



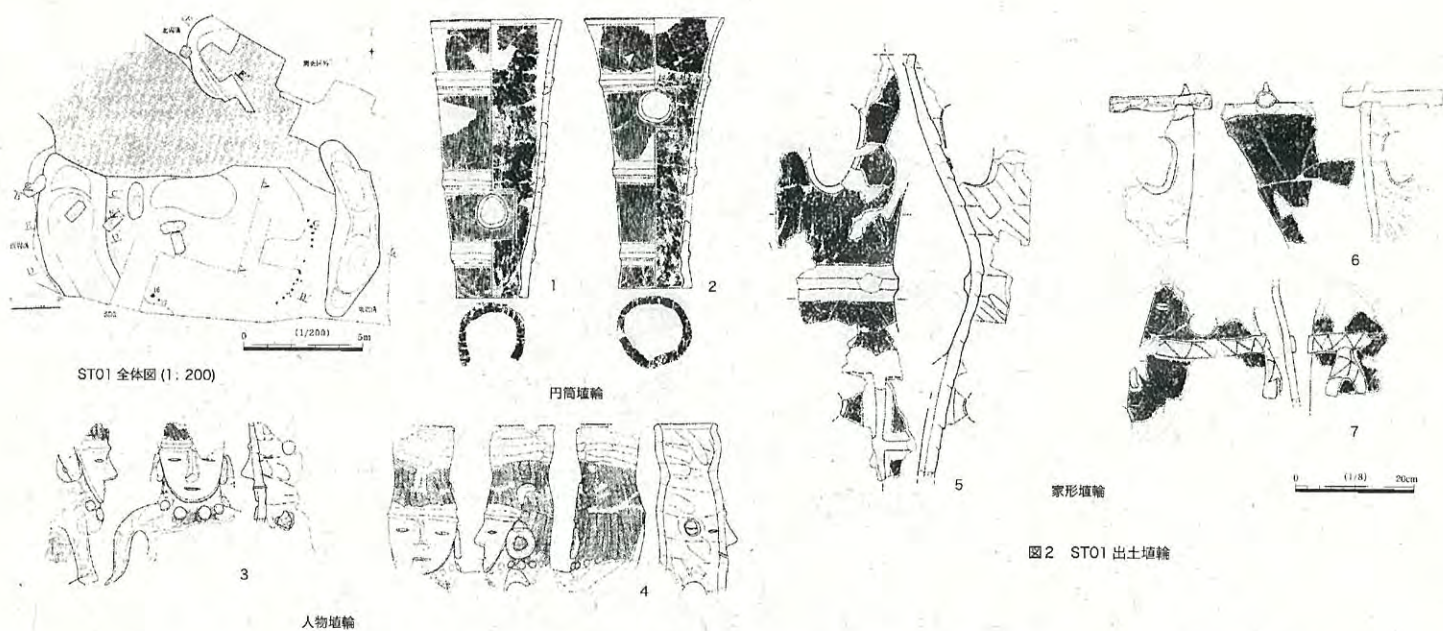


図2 ST01 出土埴輪

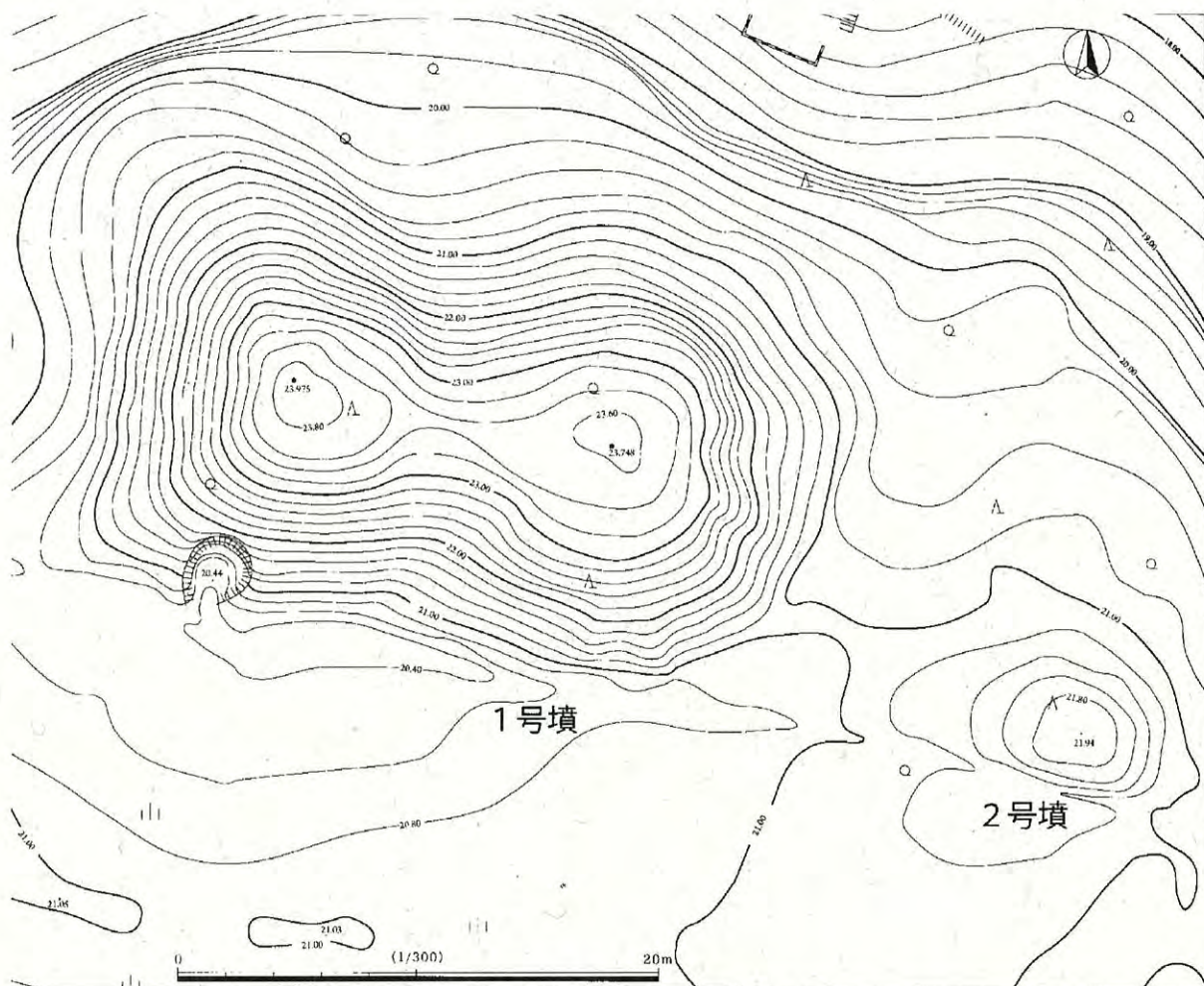
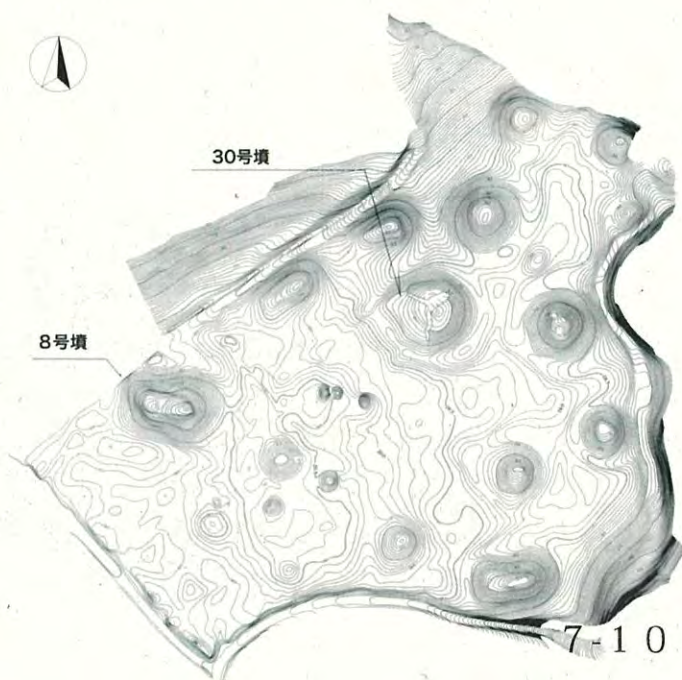
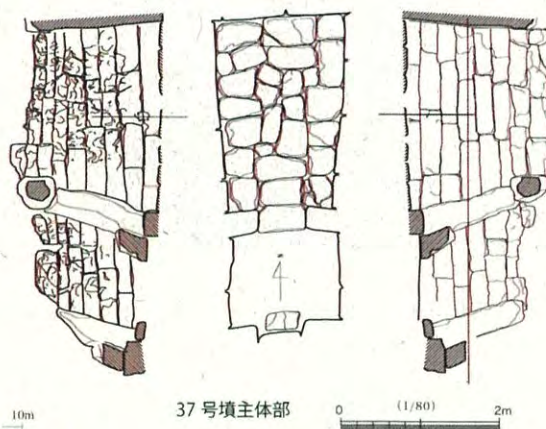
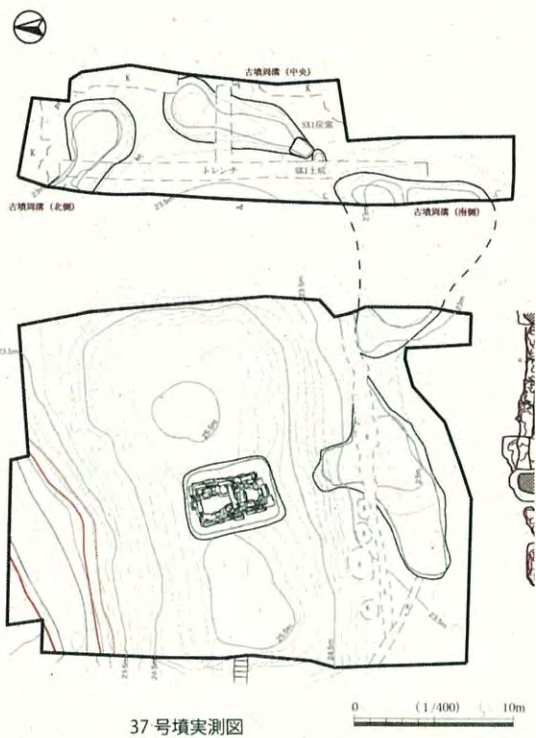


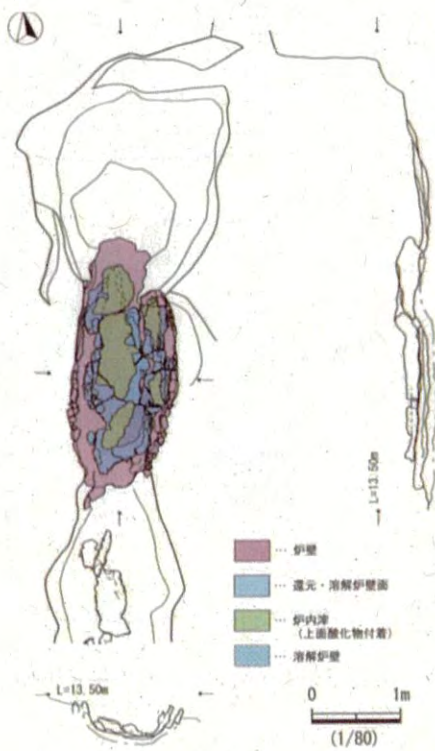
図5 箕輪1号墳・2号墳 墳丘測量参考図

7-10 箕輪古墳群



7-10 箕輪古墳群

7-11 船戸古墳群



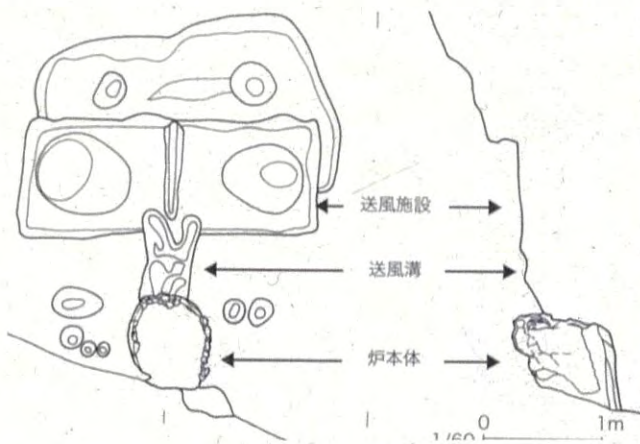
製鍊炉跡



製鍊炉跡全景



若林 I 遺跡



宮後原遺跡



2号炉

7-12 宮後原製鉄遺跡

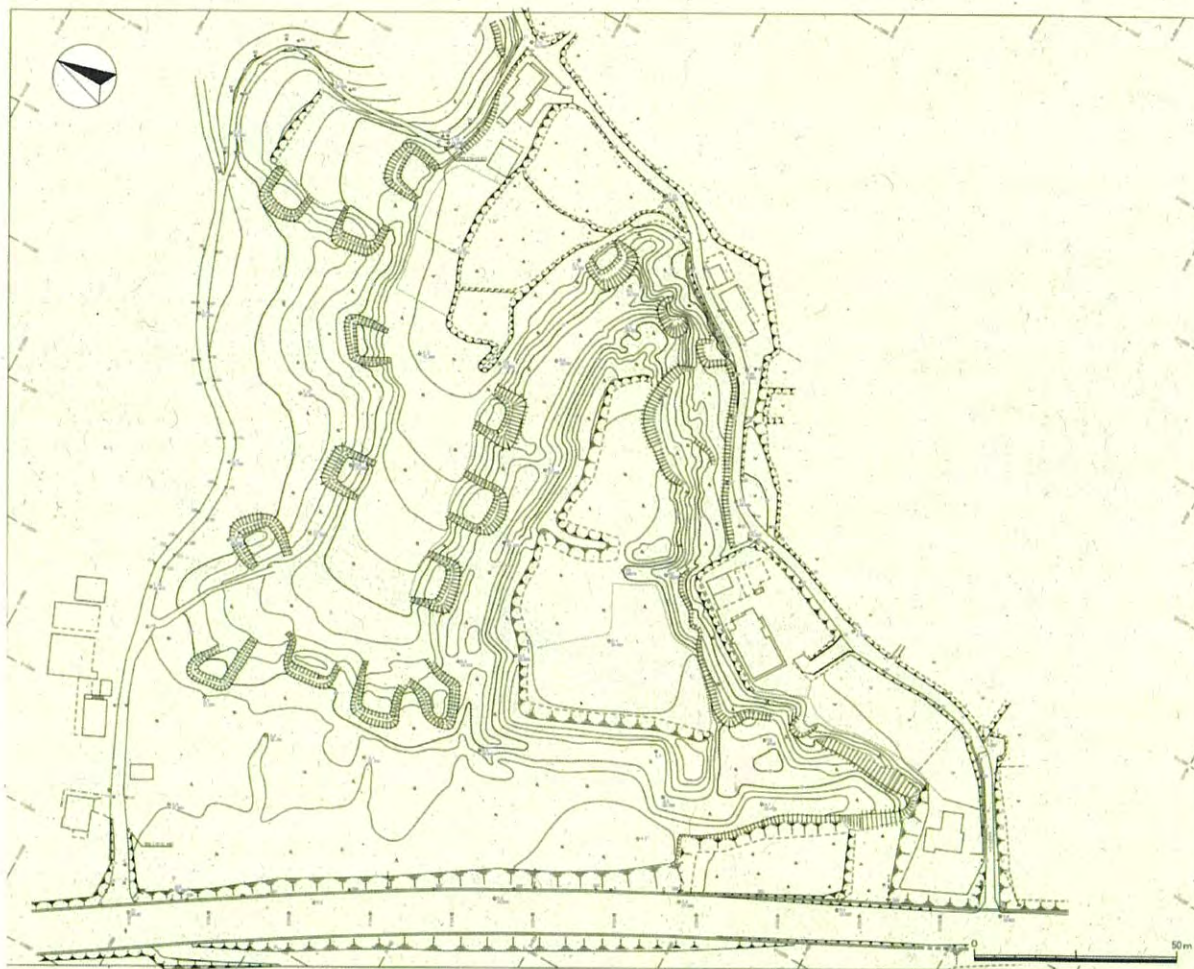


図2 増尾城跡実測図



写真1 北西土塁・堀 西部横矢 西より

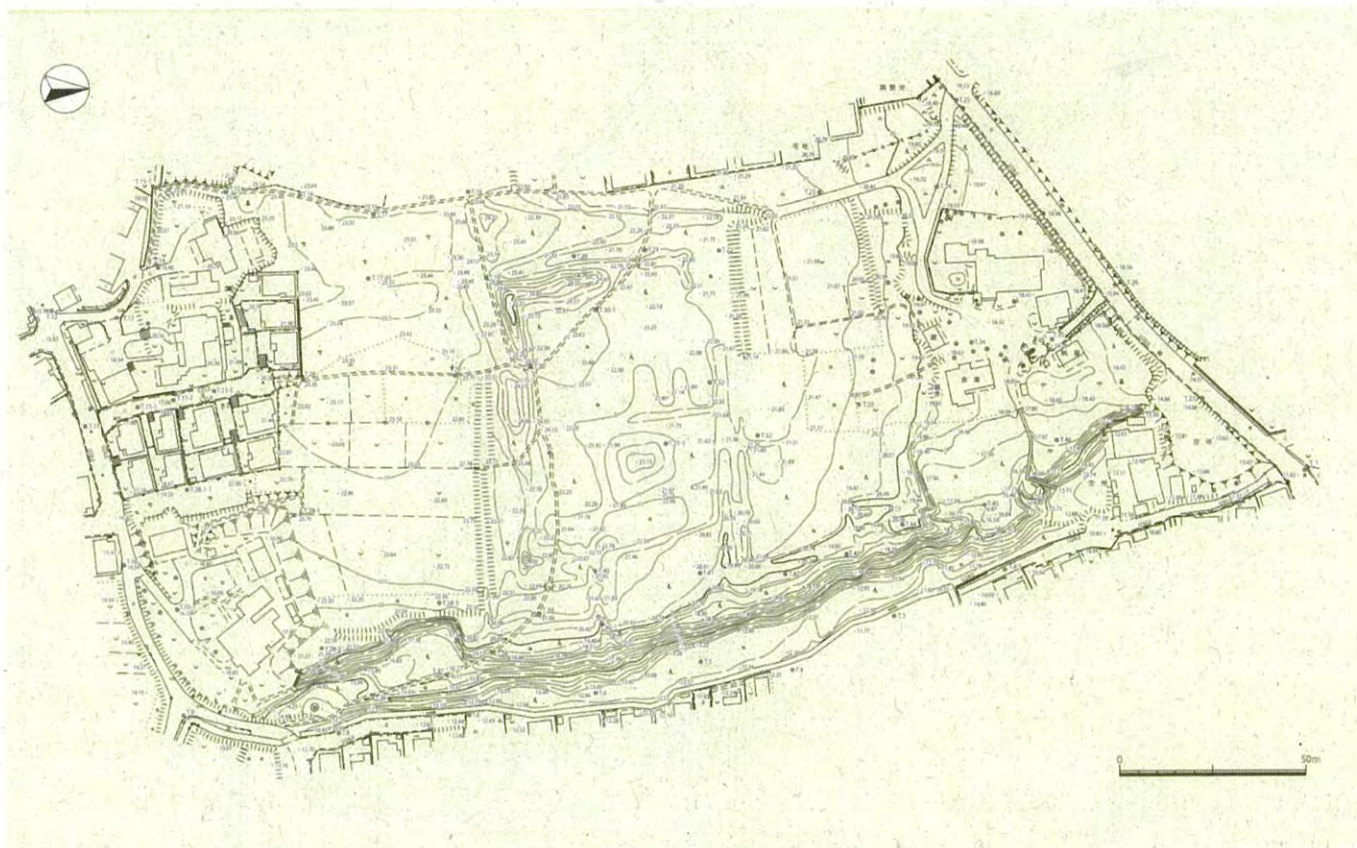


図2 幸谷城跡実測図



写真1 南西端土塁 西より

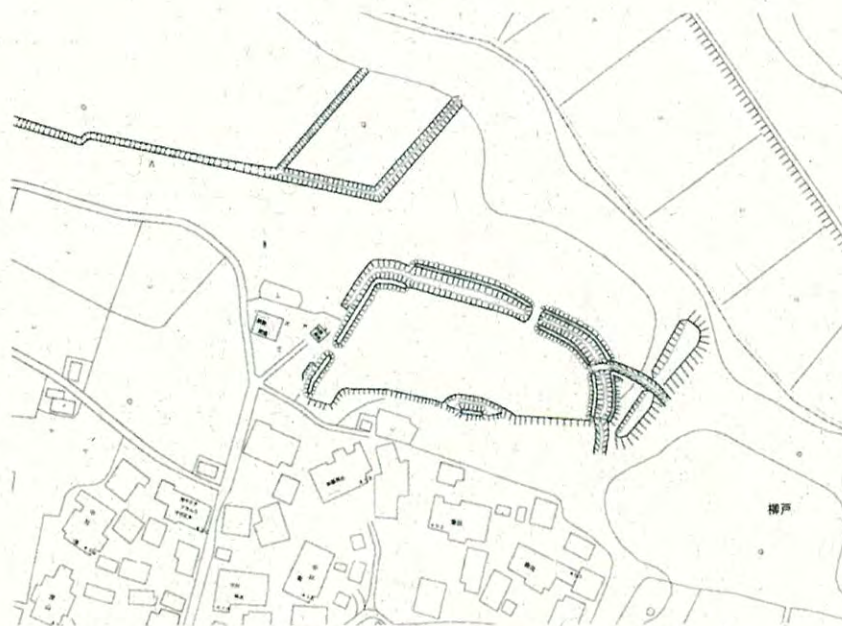


図2 柳戸砦概念図



写真1 東側土塁・堀北部 堀底北より



写真2 東側土塁・堀南端 堀底北より



図2 戸張城跡概念図



写真1 主郭前面土塁・堀 堀底北より



写真2 2郭前面土塁・堀南部 城外南西より